

診療報酬制度の現状と課題

全日病 副会長 猪口雄二
(医財) 寿康会

- 日本の診療報酬制度は、医療保険制度と同様に 50 年の歴史がある
2 年に 1 回の改定が基本
基本的な体系整理は出来ず、継ぎ接ぎ・複雑怪奇なもの
- 中医協の存在
平成 17 年に転換→平成 18 年改定は医療を変えた？
- 基本は基本診療料と特掲診療料
入院基本料だけでも 40 種類
一般病床入院基本料は、何が入っているか？
DPC は緻密な包括性？
- 医療費包括化は効率的か
(例) 療養病床の変遷
在宅療養はどうなるか
- ターミナルケアとインフォームドコンセント
平成 20 年改定で、後期高齢者に導入→半年で廃止
国民的コンセンサス形成は可能か
- 医療・介護の連携と包括化
地域包括ケアに医療は描かれていない
全日病の提唱する「地域一般病棟」とは
- 望ましい診療報酬・介護報酬とは
シンプルで、国民に判りやすい制度
規制ではなく信任に基づく制度